

平成28年3月期決算説明資料

平成28年5月

株式会社セブン銀行



ハイライト	2頁	口座サービス②	9頁
損益状況【単体】	3頁	トピックス	10頁
収益・利益の推移【単体】	4頁	損益状況【連結】	11頁
ATMの利用件数と単価の推移	5頁	北米子会社	12頁
ATM台数と平均件数の推移	6頁	インドネシア子会社・国内子会社	13頁
グループ外ATMの展開	7頁	財務の状況【単体】・配当政策	14頁
口座サービス①	8頁	今後の取組み	15頁

※決算発表資料は、当社Webサイトからもご覧いただくことができます。
[\(http://www.sevenbank.co.jp/ir/library/presentation/\)](http://www.sevenbank.co.jp/ir/library/presentation/)

本資料には、株式会社セブン銀行、及びその連結子会社の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATM事業及び金融サービス事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社、及びその子会社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。

2015年度決算

[単体]

- 経常収益 1,104億円、経常利益 390億円と5期連続の増収増益
 - ・ ATM設置台数の増加を主因に、受入手数料が伸長
 - ・ 個人向けローン、海外送金サービス等その他収益も順調に増加

[連結]

- 経常収益 1,199億円、経常利益 371億円と増収増益
- 配当は中間4円、期末4.5円、年間8.5円で50銭の増配

2016年度の見通し

- ATMビジネスの更なる拡大、口座・決済関連ビジネスの成長により増収増益を計画
 - ・ 品質の向上を軸足にATM設置台数は純増約1,200台、2017年3月末に23,700台へ
 - ・ 個人向けローンの期末残高200億円、海外送金サービスは年間95万件に
- 米国はセブン - イレブン店舗内への設置に全力
- 配当は中間、期末各4.25円、年間8.5円を予定

損益状況【単体】

(単位: 億円)

	14年度	15年度			16年度計画			
		計画 (2015年11月)		前年差異	通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	1,056	1,111	1,104	48	1,138	34	571	18
うちATM受入手数料	989	1,026	1,022	33	1,042	20	525	11
経常費用	673	715	714	41	743	29	368	13
うち資金調達費用	12	12	12	0	10	△2	5	△1
うちATM設置支払手数料	119	127	127	8	140	13	71	8
うち業務委託費	168	177	176	8	180	4	90	2
うち保守管理費	37	37	39	2	38	△1	19	0
うち土地建物機械賃借料	9	9	9	0	9	0	4	0
うち減価償却費	150	175	174	24	178	4	86	0
経常利益	382	395	390	8	395	5	202	4
特別損益	△1	△1	△1	0	△1	0	△0	0
法人税等合計	136	130	128	△8	121	△7	62	△3
当期純利益	244	263	261	17	272	11	139	7
EBITDA	533	570	564	31	573	9	288	4
期末ATM設置台数(台)	21,056	22,400	22,472	1,416	23,700	1,228	23,000	1,221
ATM受入手数料単価(円)	136.2	133.7	133.6	△2.6	133.0	△0.6	133.1	△0.7
平均利用件数(件/台/日)	100.9	99.1	98.8	△2.1	95.4	△3.4	97.3	△3.4
総利用件数(百万件)	743	785	782	39	800	18	403	10

注1) 計数は全て表示単位未満切捨て

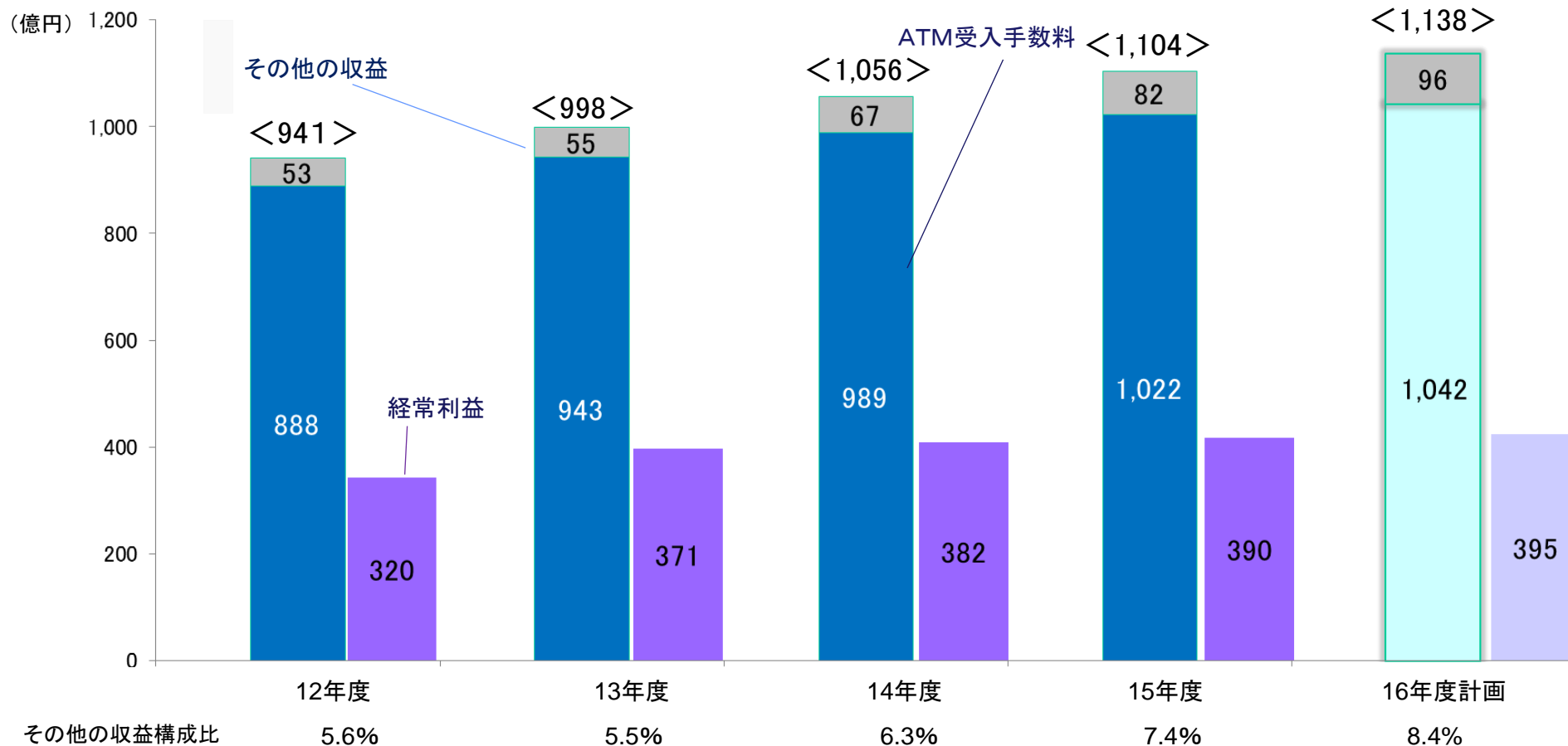
注2) 前年差異は億円単位(総利用件数は百万件単位)で比較

注3) EBITDA=経常利益+減価償却費

■ ATM受入手数料と共にその他収益も着実に増加、増収増益を継続

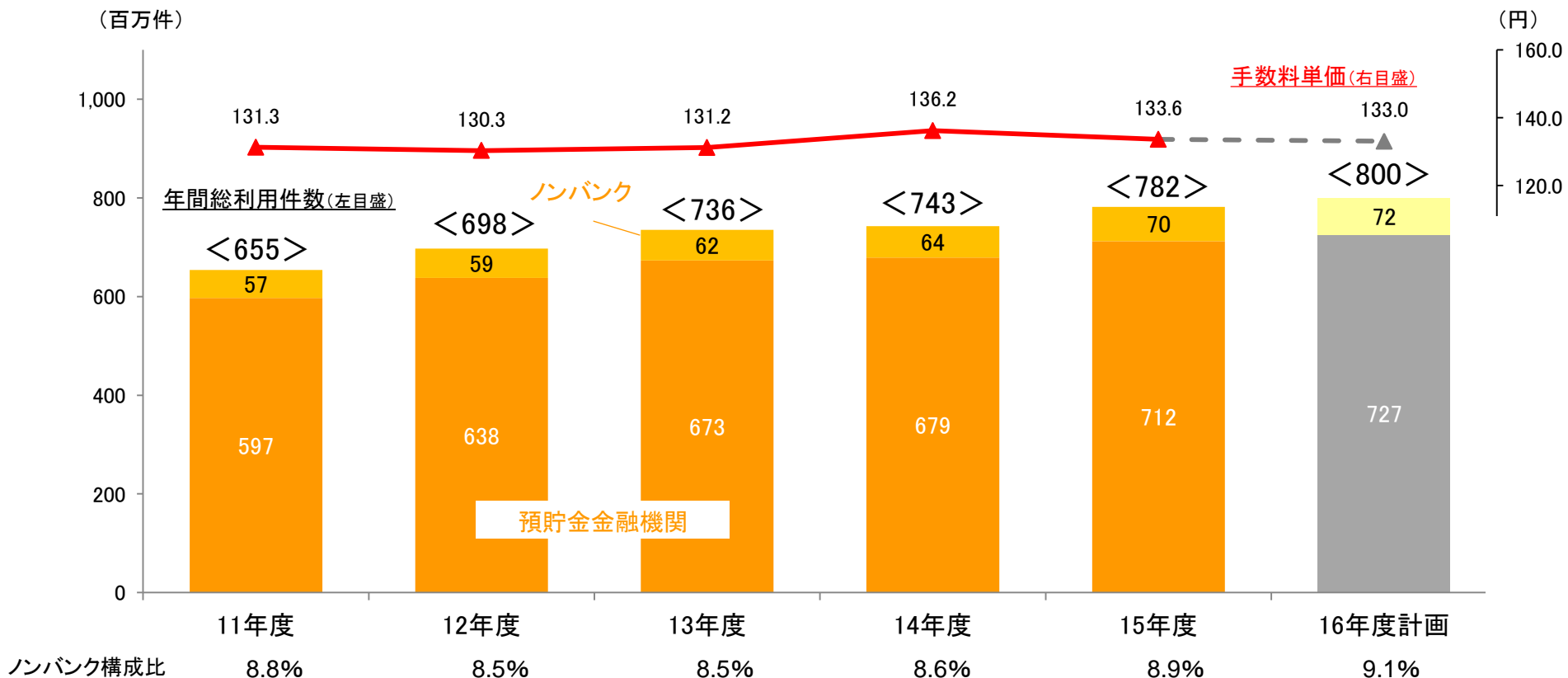
ATM受入手数料 ATMの利用件数に応じた銀行等からの手数料

その他の収益 ATM代替・個人向けローン・海外送金サービス等の収益



・個人向けローンサービスは2010年1月、海外送金サービスは2011年3月より開始

- 手数料単価は現状水準を維持
- ATM総利用件数は台数増加を背景に引き続き伸長



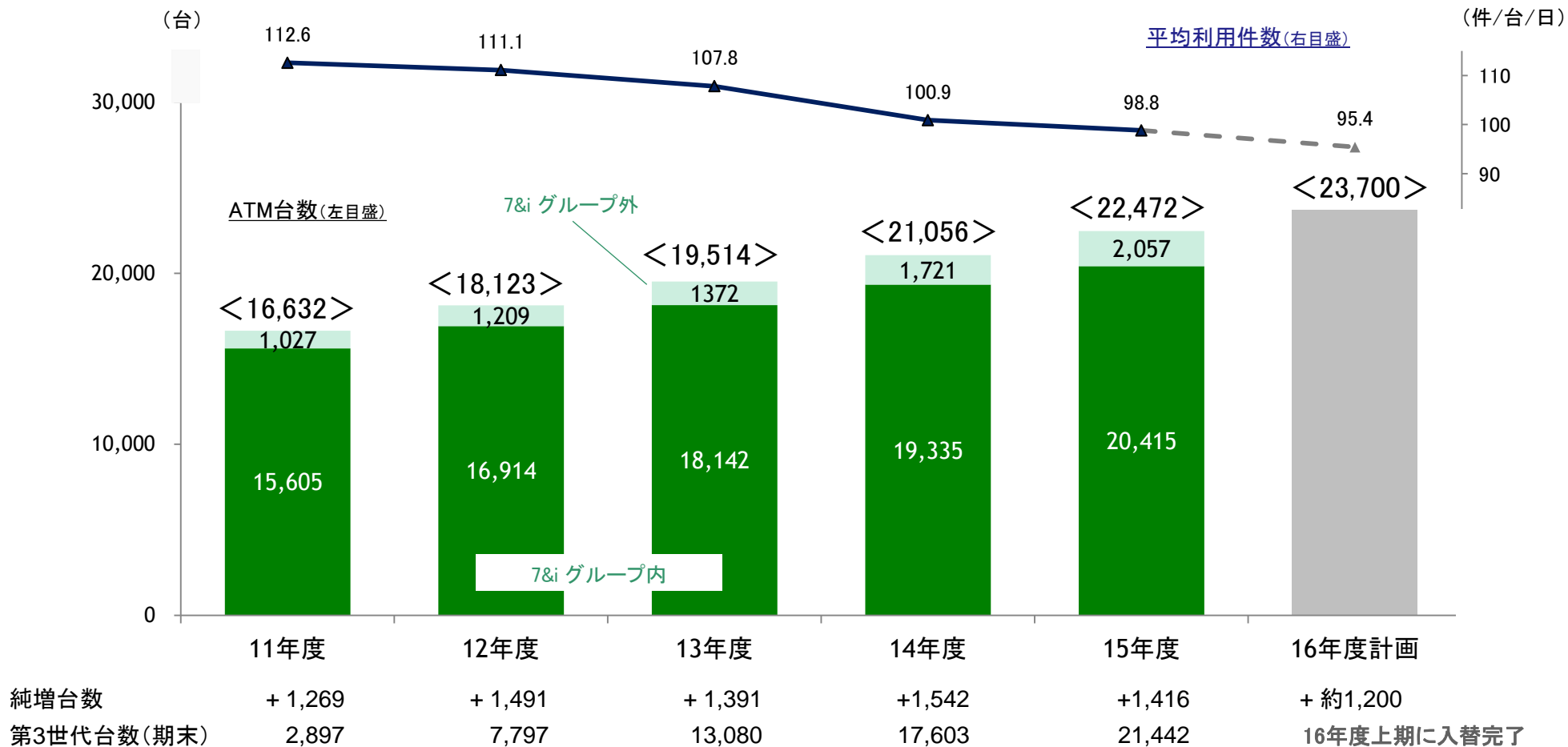
注1) 総利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず

注2) ATM受入手数料単価は、ATM受入手数料 ÷ (総利用件数 - ATM受入手数料収入を伴わない利用件数<売上入金等>)で算出

注3) 本資料におけるノンバンクは、証券会社、生命保険会社、クレジット会社、信販会社、消費者金融会社等の合計

ATM台数と平均件数の推移

- 平均利用件数は顧客手数料有料化や消費者マインドの変化を背景に低下傾向
- ATM台数はグループ内外ともに順調に増加、2016年度も純増約1,200台を計画



注) 平均利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず

- 海外カード対応のメリットを活かし、交通・観光・流通等の施設に積極展開
- 設置費・通信費等の運用コストの低減、利用環境の改善に取り組む



ATM設置事例



JR大阪駅

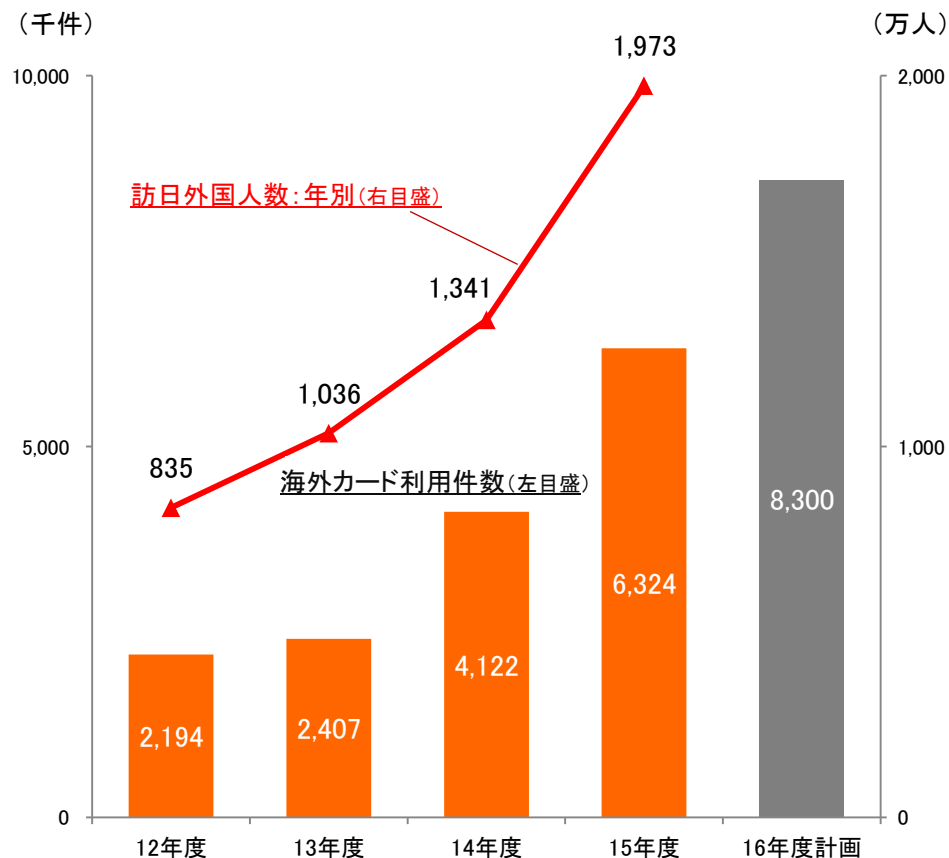
西日本鉄道福岡天神駅



(単位:台)

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
空港	33	36	36	39	44
駅・交通系	84	98	138	207	295
商業施設	298	417	539	724	926
その他	126	173	194	289	329
証券会社	486	485	465	462	463
グループ外計	1,027	1,209	1,372	1,721	2,057

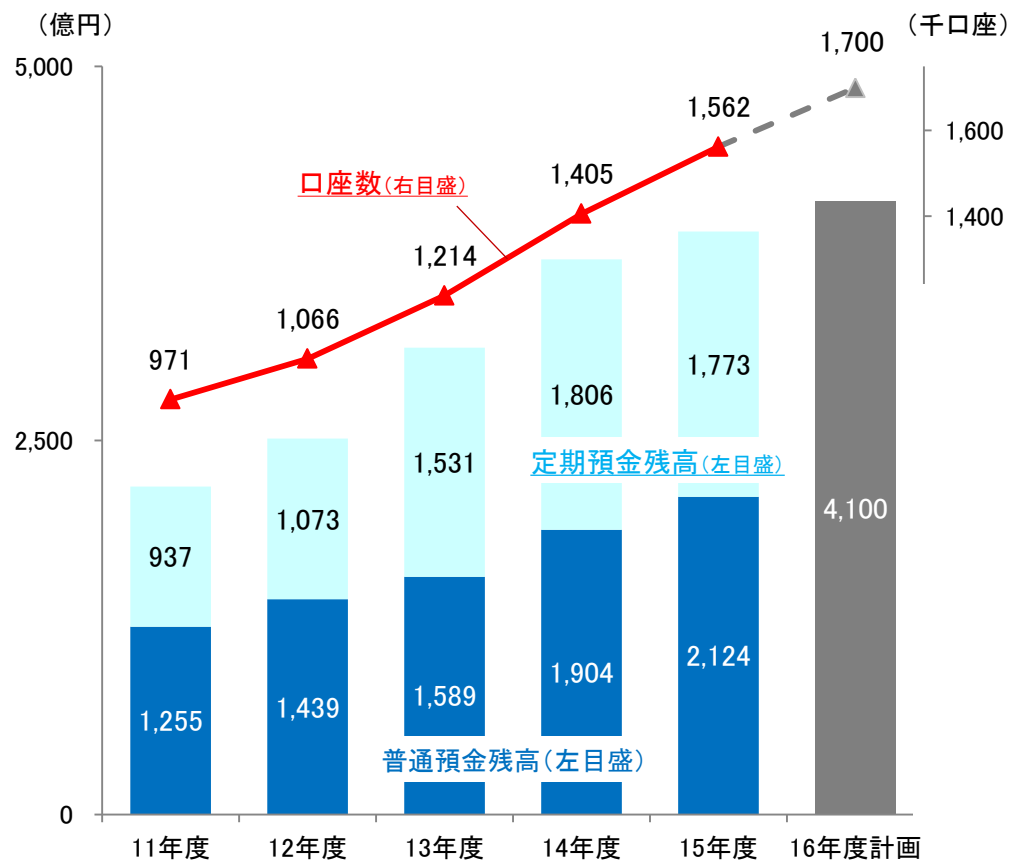
海外カード利用件数・訪日外国人数



※出典:JNTO 年別訪日外客数

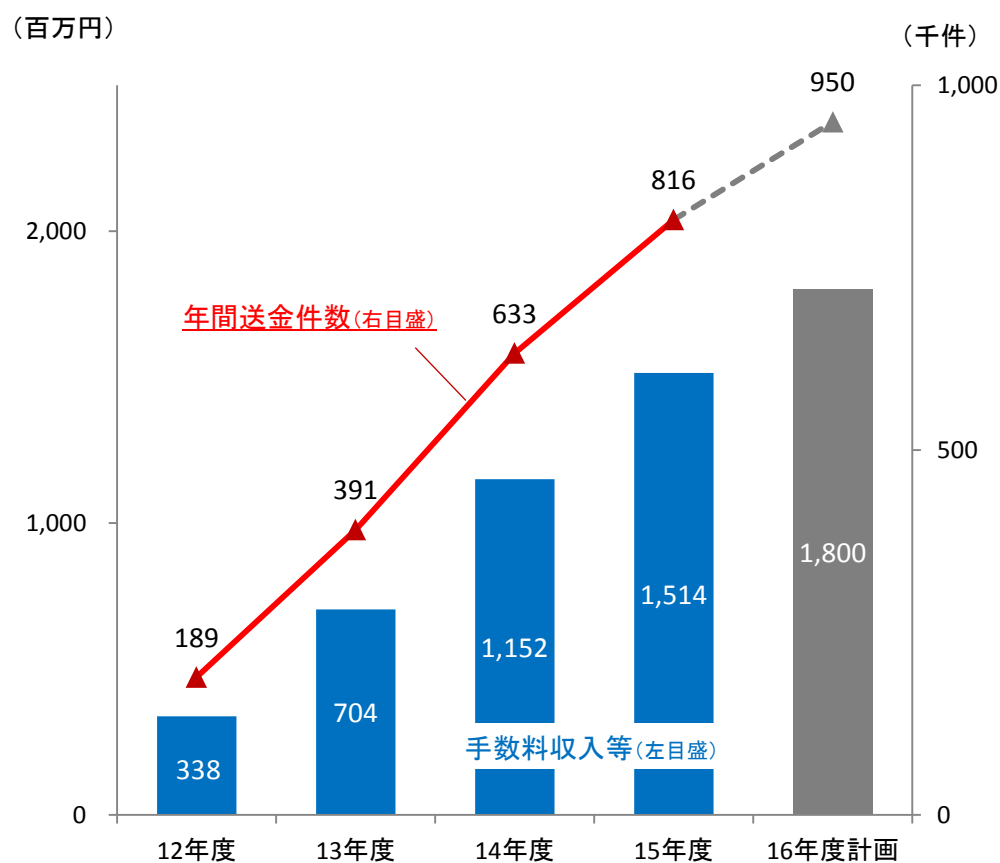
個人の口座数と預金残高

- ・ATMの必要現金の太宗は預金で調達
- ・利便性、安全性が評価され預金残高は着実に増加



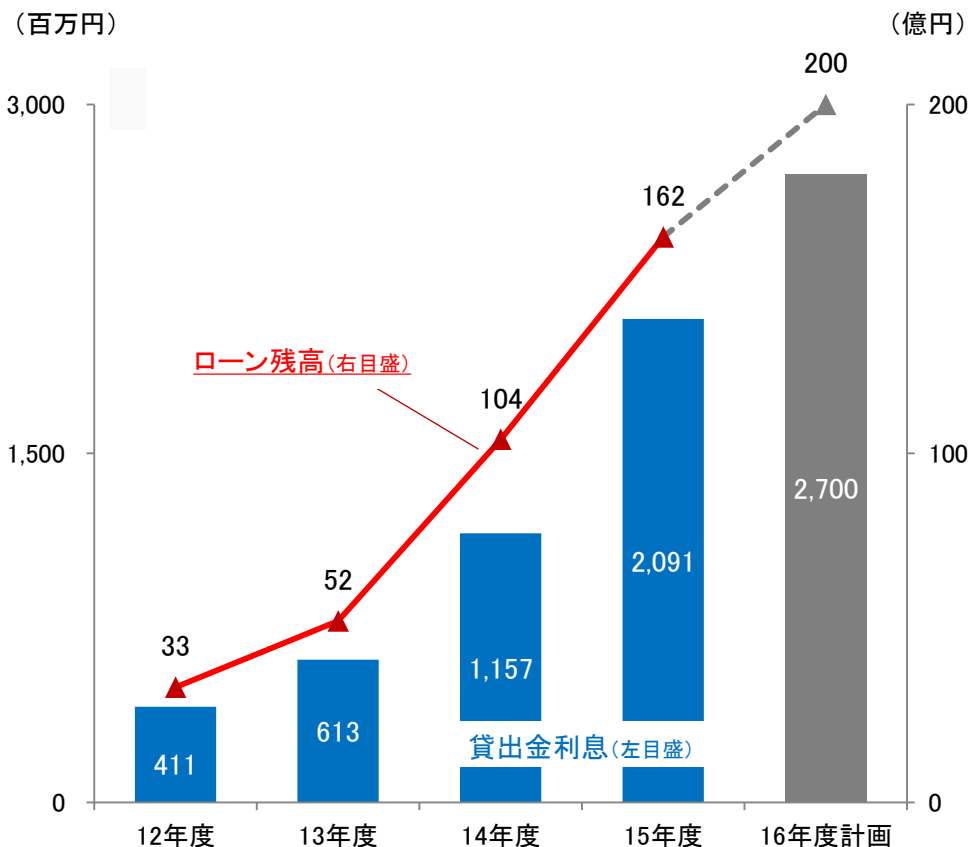
海外送金サービス

- ・個人海外送金で高いマーケットプレゼンス確立
- ・新施策で更なる拡大を目指す
(アプリ等を使ったネットサービス、有人拠点、多言語コールセンター等)



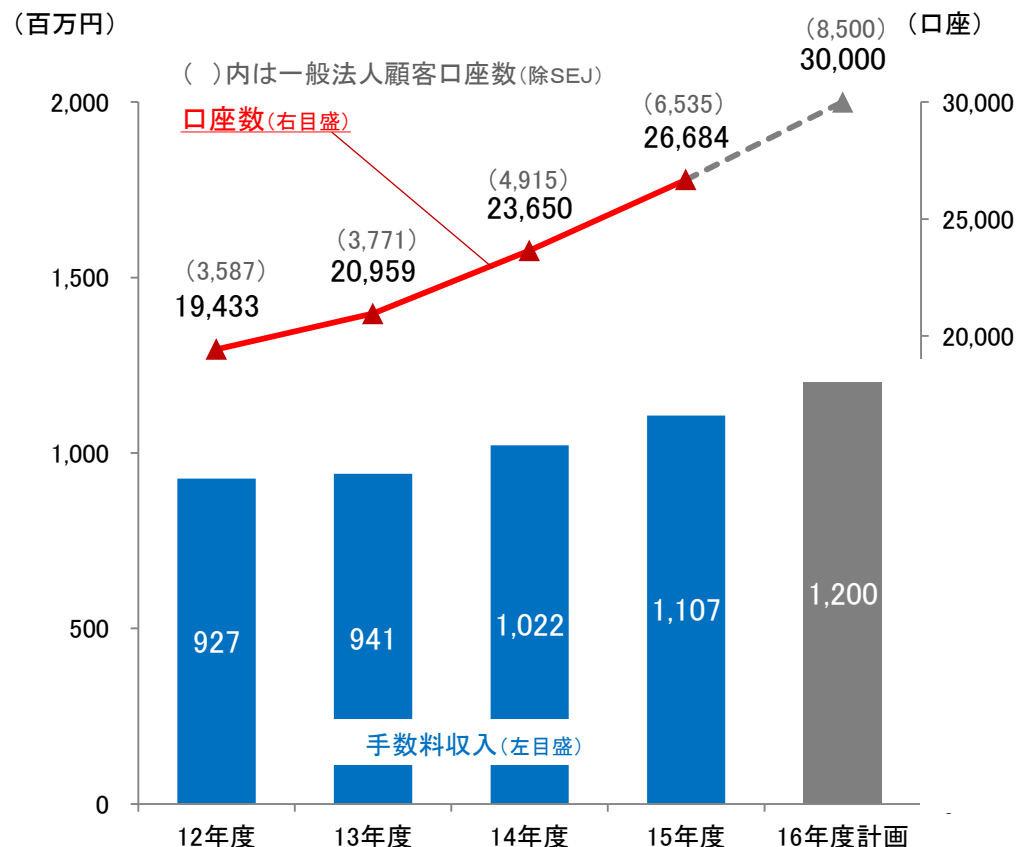
個人向けローンサービス

- ・極度額(50万)、金利(15%)など商品性は維持
- ・効率的な認知拡大活動により残高を着実に積上げ



売上金入金サービス

- ・手数料収入に加え、現金装填コストの低減に寄与
- ・小売、サービス業の新たなニーズ発掘に挑戦



■ ATMサービスの充実

・ATMを12言語対応に

・外国人のお客さまにも、安心・安全にご利用いただけるよう海外発行カード利用時、ATM画面、明細票を12言語対応

・カードローンボタンの追加 (2016年3月末:27行)

・銀行のカードローンがより便利にご利用いただけるよう、新たなATM取引メニューの開発

・杖/ドリンクホルダーの設置

・店舗でのATM利用シーンを想定しセブン - イレブン店舗内ATMに設置完了(2016年5月)



■ 口座サービスの充実

・デビット付きキャッシュカードの発行 (2016年秋よりスタート)

・お客さまのニーズに応える新たな決済手段の提供

・「スマートフォン認証」を導入

・より安全な取引を提供、インターネットバンキングでの取引を2経路承認することでセキュリティ強化

- 2015年度は増収増益を達成
- 2016年度も増収増益を計画、海外事業は成長投資を継続

(単位: 億円)

	14年度	15年度			16年度計画			
		計画 (2015年11月)		前年差異	通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	1,140	1,203	1,199	59	1,231	32	616	16
経常費用	769	825	827	58	855	28	423	13
経常利益	370	377	371	1	376	5	193	4
親会社株主に帰属する 当期純利益	232	251	247	15	256	9	131	4

注1) 前年差異は億円単位で比較

注2) 連結損益の為替レート

: 1米ドル

2014年度=105.79円、2015年度=121.10円、2016年度計画=115.00円

: 100インドネシアルピア

2014年度=0.904円、2015年度=0.905円、2016年度計画=0.900円

《 各社連結対象期間 》

セブン銀行	2015年4月1日	～	2016年3月31日
FCTI	2015年1月1日	～	2015年12月31日
ATMi	2015年1月1日	～	2015年12月31日
BBF	2015年4月1日	～	2016年3月31日

北米子会社

- ATM台数、利用件数は現状レベルを維持し、経常収益を確保
- 米国セブン - イレブンへのATM設置開始(2017年7月目途)に向け、システム・人員体制等の準備に傾注

FCTI単体

(単位:百万米ドル)

	14年度	15年度	16年度計画	
			通期	上期
経常収益	79.6	78.5	79.8	38.8
経常費用	77.8	80.6	82.0	40.4
経常利益	1.7	△2.0	△2.1	△1.6
当期純利益	1.0	△1.5	△1.6	△1.1
EBITDA	8.0	4.4	5.0	1.8

注1) EBITDA=経常利益+減価償却費

注2) 為替レート:1米ドル

2014年度=105.79円、2015年度=121.10円、2016年度計画=115.00円

主要計数

	14年度	15年度	16年度計画
期末ATM設置台数(台)	6,329	6,625	6,700
うち自社保有(台)	4,846	5,070	5,100
総利用件数(百万件)	38.0	36.9	37.5

注1) 自社保有以外のATMは、主にATM設置場所の所有者等が保有している

注2) ATM台数はカナダ含む

注3) 2016年3月末のATM台数は6,451台



米国内のセブン-イレブン:7,995店(2016/2末時点)

インドネシア子会社



- 社名 PT.ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONAL
(ATMi:アバディ タンバ ムリア インターナショナル)
- ・2016年3月末時点のATM設置は88台
- ・現地金融機関からの受託に向け稼働実績の積上げ
先行投資(設置ATM)を実施

(単位:百万円)

ATMi単体	15年度	16年度計画	
		通期	
		上期	
経常収益	14	85	27
経常費用	62	273	107
経常利益	△47	△188	79
当期純利益	△38	△164	△69

注1) 為替レート:100インドネシアルピア
2015年度=0.905円、2016年度計画=0.900円

国内子会社



セブン銀行の100%子会社
バンク・ビジネスファクトリー

- 社名 株式会社バンク・ビジネスファクトリー
(BBF:Bank Business Factory)
- ・2016年3月末時点の外部事務受託社数は4社
- ・事業拡大に伴う先行投資(IT基盤増強)を実施

(単位:百万円)

BBF単体	15年度	16年度計画	
		通期	
		上期	
経常収益	687	790	375
経常費用	646	774	368
経常利益	40	16	7
当期純利益	29	11	5

貸借対照表(2016年3月末)

(単位:億円)

現金預け金 6,415 (ATM装填用 等)	預金 5,470 (個人預金 3,898)
	社債・借入金 1,250
有価証券 833	ATM仮受金 378 その他 179
ATM仮払金 833	純資産 1,831
その他 1,027	
資産 9,108	負債+純資産 9,108

2016年3月末時点

単体自己資本比率(国内基準)	53.90%(速報値)
格付	S&P A+
	R&I AA
ROE(連結)	13.97%

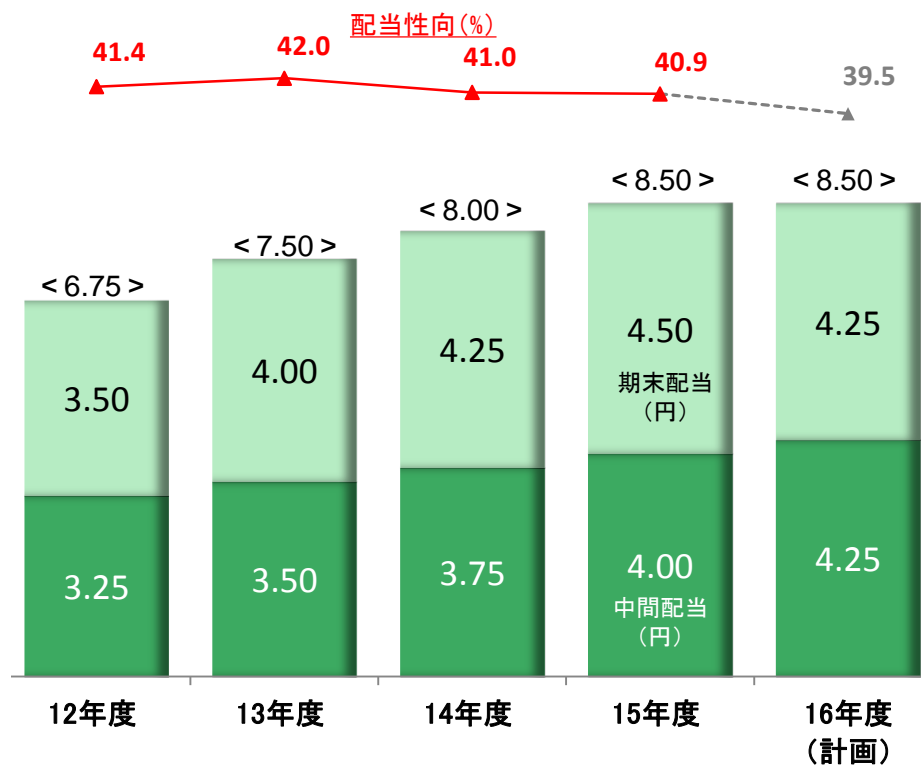
配当方針

連結配当性向は年間35%を最低目標に、年2回の配当を実施

配当実績・予想

2015年度 : 期末を0.5円引き上げ4.5円、中間と合わせ年間8.5円

2016年度 : 年間8.5円を予定



- 全国2万台超のATMを持つ強みと最新の技術の融合
- お客さまのニーズに応える新事業を創造し、新たなマーケットを開拓
新技術が生み出す社会の変化、新たな金融ニーズを調査・研究をする組織「セブン・ラボ」を新設

